

N-2: 参加者ネットワーキングセッション

開催日時・会場 9月3日(火曜日) 15:50-17:20 新C103(1階)

プログラミングによるデータ分析の生産性向上 — Code for Research Administration

研究力強化に向けた戦略的な取り組みを行うため、研究力分析(研究IR)の重要度はますます高まっています。その一方で大学・研究機関における研究力分析の実務担当者は、より高度な分析を、限られた期間と、限られた人員の中でこなすことを求められている現状にあります。それぞれの実務担当者が所属機関に適した分析に取り組んでいる一方で、多くのURAが扱う情報源は、書誌DBや科研費DBなど共通するものを使っている現状にあります。そのためデータ分析に関するノウハウの共有やツール開発など、URA同士で協力することでより高度な分析をより効率的に取り組むことが出来ると期待されます。

本ネットワーキングセッションでは、すでに研究力分析業務等でプログラミング言語を活用しているURAらが更に高度な業務へ取り組むための意見交換をする場を提供すると同時に、プログラミング経験は無いが、興味があるというURAが参加し、他機関での事例共有や、プログラミングを通じて取り組んでみたい業務についての意見交換を行う場を提供します。

本ネットワーキングセッションは、業務にプログラミングを活かすことに関心のあるURAのネットワーキング活動であるCode for Research Administrationの取り組みを基盤としています。業務でのプログラミング活用に関心のある方は、下記のウェブサイトもご覧いただきつつ、本ネットワーキングセッションへご参加いただいで仲間作りにご活用ください。

Code for Research Administrationウェブサイト:

<https://sites.google.com/view/c4ra/>

オーガナイザー

矢吹 命大: 横浜国立大学 研究推進機構

特任教員(准教授) / リサーチ・アドミニストレーター



筑波大学大学院人文社会科学部国際政治経済学専攻単位取得退学。修士(国際政治経済学)。2014年4月横浜国立大学着任。2017年7月より現職(その他経歴はB-1、K-2を参照)。

URAとして研究力分析を担当しており、Python/PHPを、データ収集、分析、報告の効率化、高度化に活用している。Webスクレイピングによるデータ取得とグラフ理論のネットワーク分析に関心がある。